

# 国立大学法人 大阪大学への企業訪問について

## 訪問概要

- 【訪問企業】 国立大学法人 大阪大学  
 【訪問日】 平成29年11月10日  
 【主な出席者】 <大阪大学> 鬼澤理事、  
 人事関係 幹部方  
 <大阪労働局> 田畑労働局長



くるみんを取得  
(2010年)

※「くるみん」とは「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受けた証。



左：大阪大学  
鬼澤理事

右：大阪労働局  
田畑局長

## 大阪大学の働き方改革に向けた主な取組(抜粋)

項目	主な内容
働きやすい環境整備	<p>◆学内保育園を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国立大学法人において最大規模(定員185名)</li> <li>一時預かり保育室、学童保育等を整備</li> </ul> <p>◆SOGI(※)への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>性的指向・性自認の多様性に関する基本方針を策定</li> <li>性別を問わないトイレサインを作成</li> </ul> <p>※SOGI・・・性的指向(Sexual Orientation)・性自認(Gender Identity)の頭文字。これらは全ての人を持っており、LGBTより広い概念。</p>
育児・介護制度	<p>◆育児・介護のための制度拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早出遅出勤務、変形労働時間制の対象拡大</li> <li>介護休業における取得可能期間の上限引上げ、介護のための短時間勤務の取得可能期間の上限引上げ</li> </ul>
時間外労働削減取組	<p>◆事務組織改革WGの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>労働生産性の向上、働きやすい職場形成に向け、事務組織の再編、業務の効率化等に関する方策を検討</li> </ul> <p>◆超過勤務時間数の学内公表</p> <p><b>事務系職員の超過勤務時間数を18%削減</b> (平成20年度と平成28年度の比較)</p>
テレワーク	<p>◆プレ・トライアルを実施(平成29年6月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅勤務制度の本格導入に向け、課題を明確化し、改善策を検討予定(セキュリティの確保等が課題)</li> </ul>

## 意見交換

### 鬼澤理事より

- ✓ 学内保育園は好評で、0・1歳児については希望者が定員を上回っている状況。さらに拡充していきたいところではあるが、課題も多い。また、育児・介護の制度の改正等も行い、働きやすい環境整備を進めている。
- ✓ 女性の管理職の増加に注力している。女性リーダー育成プログラムの実施等により、管理職に対する女性の意識改革や登用試験を受験しやすい環境整備を進めていく。
- ✓ テレワークについて、プレ・トライアルの実施者からはワークライフバランスに資すると好評の声も聞かれ、効果的な実施に向け、今後検討していきたい。

### 田畑労働局長より

- ✓ 時間外労働の削減に向け事務組織改革WGの設置や定時退勤日の設定・推進等、各種取組を真摯に進められている。
- ✓ ダイバーシティ推進に関して、誰もが活躍できるよう、学内保育園の設置やSOGIへの取組、育児・介護の制度拡充等、先進的に取り組まれている。
- ✓ 一方、年次有給休暇の取得日数、男性の育児休業取得率について向上するよう体制のさらなる整備をお願いしたい。